

「JRR-3 停止の影響による海外の研究炉利用状況調査」への協力のお礼と調査報告について

平成 28 年 3 月 7 日

平素より、弊機構の事業に深い理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年 11 月に、「JRR-3 停止の影響による海外の研究炉利用状況調査」として、JRR-3 停止期間中に海外の研究炉においてビーム実験あるいは照射実験を実施された研究者・技術者の方々を対象に、海外炉の利用状況調査を行いました。

その結果、海外炉を利用された多くの方々から、多岐にわたるご意見をいただき、感謝申し上げます。

この度、調査結果をまとめましたので、下記 URL にて公表させていただき運びとなりました。

JRR-3 ユーザーズオフィス : <http://jrr3uo.jaea.go.jp/>

研究炉加速器管理部 HP : <http://drrta.jaea.go.jp/>

JRR-3HP : <http://jrr3.jaea.go.jp/>

JRR-3 には、装置の高度化、利用者支援体制の拡充などの課題があるものの、JRR-3 の利便性や機動性の良さを評価していただき、早期再稼働に対する多くのご要望をいただきました。

本調査結果の一部は、原子力委員会の定例会議での研究炉の状況の報告の際に合わせて示させていただきました。今後は、日本学術会議の小委委員会の場で公表し、早期再稼働の重要性を訴える資料とさせていただきます。

それらの働きかけも含め、弊機構として JRR-3 の早期再稼働に向けた取り組みを継続してまいりますので、引き続き、ご理解賜りますようお願い申し上げます。また、JRR-3 の新規制基準適合確認審査状況につきましては、引き続き、JRR-3 ユーザーズオフィスを通しまして、適時、ご報告いたします。

最後になりましたが、日本原子力学会、日本中性子科学会、J-PARC/MLF 利用者懇談会、中性子産業利用推進協議会、東京大学原子力専攻には、メーリングリストを通してアンケートを配布していただきました。ご協力に対し感謝の意を表します。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 企画調整室長代理 峯尾英章

mineo.hideaki@jaea.go.jp